

# 上條奨学賞 今年度は9名が選ばれる

上條奨学賞は、有益な学術研究業績や教育実践上の功績に対して贈られる。  
上條奨学賞委員会(委員長:小出良平学長)は各学部からの推薦に基づき、次の9名を今年度の受賞者に決定した。

## 研究業績部門

医学部  
内科学講座 糖尿病代謝内分泌内科学部門  
講師 森 雄作



「2型糖尿病の心血管疾患に対する新たな治療法の確立・インクレチンの心血管保護作用の解明」  
このたびは栄誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄なことと存じます。ご指導いただきました糖尿病代謝内分泌内科学部門の平野勉前教授、ご協力頂きました学内外の多くの方々への場をお借りして深く謝申し上げます。

近年の糖尿病患者数の増加は深刻な社会問題として、生命予後に直結する心血管合併症の抑制は重要な課題となっております。私達はインクレチンの心血管作用の解明をテーマに研究を行ってきました。インクレチン関連薬は現在の糖尿病治療の中心的な薬剤ですが、インクレチンが心血管保護的に作用することを明らかにしてきました。今後昭和大学での研究成果を国内外に向けて発信し、医学の発展に少しでも貢献できるように研鑽を重ねていきたいと思っております。



薬学部 基礎薬学講座  
講師 唐沢 浩二

「活性炭素抽出型ルンゲニン化学発光HPLCを用いたマヌカハニの抗菌成分分析法の確立」  
このたびは栄誉ある上條奨学賞を賜り、身に余る光栄に存じます。ご指導いただきました荒川秀俊名誉教授、当部門の加藤大教授を始め、多くの共同研究者の方々により御礼申し上げます。

私は「医薬および生体成分の微量分析法の開発」をテーマとして、基礎と臨床を融合できるような研究を目指しております。

歯学部  
口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門  
助教 田中 準一



「マウスES細胞を用いた三次元唾液腺組織の誘導」  
このたびは、上條奨学賞という大変な賞を賜り、誠に光栄に存じます。このような賞を受賞できたのは、本研究のご指導、ご協力いただきました多岐の先生方のお力添えによるものであり、この場を借りて心より御礼申し上げます。

近年、iPS細胞やES細胞から様々な臓器が作出される中で、我々の研究対象である唾液腺を含む外分泌腺については誘導法が確立していませんでした。本研究ではマウスES細胞からの唾液腺組織の誘導法を確立し報告いたしました。本研究は未だ基礎研究の段階ではありますが、再生医療や薬剤スクリーニングのツールとして医療貢献できる技術への発展を目指し、尽力していく所存です。今後ともご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



保健医療学部 理学療法学科  
講師 加茂野 有徳

「3軸力覚センサを用いた杖歩行力学的解析システムの開発」  
このたびは栄誉ある上條奨学賞の受賞にあたり、私たちの杖歩行解析の研究成果が多岐の方々から認められたこと、ただ感謝しているばかりです。このような光栄に浴びることができたのは、学科主任の宮川哲夫先生をはじめ、理学療法学科の先生方のご理解とご支援に恵まれたからと感謝しております。また日頃

杖歩行の研究は、まだ完全な研究結果ではありませんが、改善に取り組み、より良い研究成果を出すべく一層努めてまいります。種々の杖、脳卒中や変形性関節症を患った患者様の日常生活に欠かさないものであり、その適切な使用は歩行ハビリの成果を大きく左右するものだと感じています。今後、研究活動を通じて、昭和大学およびハビリティシヨンの発展に寄与できるよう精進してまいります。

## 教育業績部門

医学部 精神医学講座  
准教授 高垣 理



「卒前・卒後のコミュニケーション・ヒューマンズ教育と医学教育者の育成」  
このたび、大変な賞ある上條奨学賞を頂き、ご支援ご芳情の賜と深く御礼申し上げます。

私は臨床精神薬理とあわせて認知行動療法や精神分析的治療法などの精神療法に興味を持ち、精神科医師としてキャリアを積んで参りました。精神疾患の回復のみならず心理・精神・神経領域の正常発達を促す側面を持つ精神療法は医学教育に共通しており、昭和大学で培った精神科専門スキルを母校の医学教育に還元できたことは、意外の喜びです。



保健医療学部 保健医療学教育  
准教授 榎田 めぐみ

「IPEに基づくチーム医療学修カリキュラムの構築」  
このたびは、上條奨学賞という大変な賞を賜り、誠に光栄であり、心より御礼申し上げます。

2010年以降、私は、昭和大学における学部連携教育に携わらせていただくようになり、今日に至るまで、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部、富士吉田教育部の先生方、学事部のの方々

歯学部  
口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門  
教授 美島 健二



「歯学部教育カリキュラムの策定とその推進」  
このたびは栄誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。この受賞は、日頃から学部教育にご尽力いただいた先生方の御力添えによるものと厚く御礼申し上げます。

平成25年より、国家試験対策委員会であるD6チューター会議の議長を務め、チューター委員の先生方と協力して、常務発達を促す側面を持つ精神療法は医学教育に共通しており、昭和大学で培った精神科専門スキルを母校の医学教育に還元できたことは、意外の喜びです。



富士吉田教育部  
教授 稲垣 昌博

「初年次基礎サイエンス実習の整備」  
このたびは名譽ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。ご推薦くださりました久光正前富士吉田教育部長、倉田知光富士吉田教育部長をはじめとした各学部代々の教育推進室長の先生方をはじめとする全学部の先生方のお陰と深く感謝しております。

今後とも、昭和大学における学部連携教育の更なる発展に向けて精進する所存です。皆さまからのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

薬学部  
基礎薬学講座 薬物動態学部門  
准教授 杉山 恵理花



「高い資質・能力を有する薬剤師養成を指向した学修体系の再構築」  
このたびは、栄誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。社会が薬剤師に求めるニーズは大きく変化しており、より高い資質・能力を有する薬剤師養成が必要とされています。今回の受賞は、臨床現場を見据えた一変を見据えた学修内容の再構築に日々尽力されている

多くの先生方のご協力の賜りと心より感謝申し上げます。「薬学教育モデル・コアカリキュラム」改訂1期生が第5学年となり、新たな薬学教育のもと学修してきた薬剤師の誕生が目前となっております。今後とも現状に甘んじることなく、将来の新たな薬材・薬剤師を担う人材の輩出のため、先生方のご協力を仰ぎながら尽力して参りたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 昭和大学 父兄会総会を開催

令和元年度 昭和大学父兄会総会が6月8日、上條記念館で開催され、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の学生保護者ら約600名が出席した。

総会は興儀美由紀父兄会長と小出良平父兄会長が出席し、小出理事の挨拶、平成30年度の父兄会・父兄互助会の決算報告や令和元年度予算および事業計画などについて、議題が審議された。総会終了後は各

